

春風秋霜

9月号

平成27年9月1日

島田市教育委員会だより
教育長 濱田和彦

春風を持って人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一喬

1 信用失墜行為の根絶について

私は、教育長に就任する時、信頼される教育を最重要課題にしました。荒れた学校の校長として、一度失った信頼を取り戻すことは、大変な時間と努力が必要だと痛感していたからです。今回報道されたような事件も、保護者や地域の信頼を大きく損ないます。何より指導を受けていた子供たちの受ける傷は大変大きいと思います。

8月25日に臨時の校長会を行い、市教委として再発防止と職場環境の再点検等について指示しました。詳しくは校長から伝達されると思いますが、今回の事件を対岸の火事とすることなく、重く受け止めてほしいと思います。市教委としては、指導主事の派遣など、伊久美小学校を全力で支援していきます。各学校においては、これまで以上に学ぶ楽しさを味わうことができるような指導を行うことにより、教師や教育の信頼を高めていただきたいと思います。

2 平和祈念式典に臨んで

8月15日には毎年平和祈念式典が行われています。これまでも何回も参加している式典ですが、本年度の式典のアトラクションは、戦後70年という大きな節目にふさわしい企画でした。

戦争体験が風化する中、様々な映像とともに戦争を体験した人たちの声が会場に流れたことは、多くの参加者に戦争を考えるきっかけを作ったと思います。大井航空隊の若き特攻隊員を見送った話や満州に生まれたばかりの子供を置いてきた話は、戦争が国民に大きな悲しみを強いるということが伝わってきました。

60代の私は、戦争を体験してはいませんが、父が砲兵として出兵しているので、子供の頃に父の体験談と一緒に入った風呂の中で聞いています。大砲を担いで山を越えた話や食料が無くて苦勞した話等が思い出されます。

戦争体験者が高齢化しているので、戦争を体験していない者も戦争の悲惨さや平和のありがたさを次世代に語り継ぐ努力をしなければなりません。島二中の二年生は、博物館の企画展「島田と太平洋戦争一明日へと語り継ぐ願い」を見て、レポートを書く夏休みの課題が出されたと聞き、大変良い取り組みだと思いました。今後も各学校での取り組みの工夫をお願いします。

3 選挙権の引き下げについて

8月30日に行われた女性議会でも話題になりましたが、選挙権が18歳まで引き下げられたことを好機として、若者が政治への関心を高めてくれたらと思います。女性議会では、子供議会を提案されました。子供が議場で模擬議会を体験することは、参加者の意識を高めることには有効だと思いますが、1回の参加者が最大20人では、市内の全児童生徒の関心を高めることは難しいと思います。

できるだけ多くの子供に関心を持たせるためには、授業で選挙の必要性や生活に密着した政治について学ぶことが大切だと思います。また、多様な考えを許容する態度や地域問題に目を向けるために、児童会や生徒会を充実させることも大切になると思います。

更に、家庭においてニュースを見ることや、事件・事故について話題にすることが、子供

の意識を変えることになると思います。学校での取り組みと共に家庭への働きかけもお願いいたします。

4 私の主張2015に参加して

8月20日におおりにおいて上記大会が行われました。県下の14,000人を超す中学生が作文の応募をし、選ばれた13人が当日に主張しました。

島田市からは、川根中学校3年生の川井美聡さんの「私の夢」が代表に選ばれました。障害を持ちながらも前向きな生き方をするおじさんを見て、福祉関係の仕事に就きたいと夢を語ってくれました。他の生徒の主張も選ばれただけあってどれも素晴らしいものばかりでした。

代表者の主張を聞いた市内の中学生も、きっと自身のものの見方や行動の仕方を見つめ直すきっかけになったと思います。今後、文集が作られ各学校に送付されると思いますが、主張文の有効活用をお願い致します。



5 夏休みを振り返って

今年の夏休みは子供の大きな事件や事故の報告がありませんでした。ニュースでは暑い夏を反映し、水の事故や熱中症がよく取り上げられていました。その中で、島田市の学校で大きな問題が無かったということは、夏休み前の指導が充実していたからだと感謝します。

しかし、夏休みが終わってもまだまだ暑い日が続くと思われます。冷房のある生活に慣れた子供も多いと思われるので、熱中症対策をお願いします。特に、中学校では体育大会の練習のため、外での活動が多くなるので注意が必要です。熱中症における事前対応と事後対応について、職員の共通認識が大切です。再確認をお願いします。

夏休み明けは、不登校児童生徒の増加も心配されます。家庭と学校の生活リズムの違いや、学校からの課題などが原因になることもあります。子供の表れに注意をお願いします。

肘かけ椅子

服部 正美 学校教育課長

免疫力 ～体験を通して身につけたい力～

日々生活していく上で、私たちは多くの人と関わっています。その関わりすべてが、自分にとって心地よいものばかりではありません。対立することも、失敗することもあります。子供は、対立することで不快な感情を学び、失敗の連続から成功を学びます。その過程の中で、自分自身の体を守る力やコントロールする力が身につけていきます。病気に対する免疫をつけるために、予防注射をしますが、人と人との関わりに対する予防注射はありません。不快な感情に負けることなく、それに立ち向かっていくことで、免疫力がついていくと考えています。

脳の研究によると、叱られることで不快な気持ちになると、脳には同じ不快を避けようとする働きが生じるとのことです。つまり、不快な経験も同じ間違いをしないために必要ということになります。

失敗や挫折は、自分をよく知る機会にもなります。小さな失敗を重ねていくことで、自分の能力や適正が見えていきます。自分の中の強さも芽生えていくでしょう。

免疫力アップに最も効果的なことは、自分にとっての「好き」を見つけることです。子供が好きなことを見つけ、そこを伸ばしていくよう、私たち大人が支えていきましょう。何事も自分で乗り越えられるような免疫力を身に付けさせましょう。